

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

南北朝時代の郷土 その6

～ 智徳熊野神社と坂東寺 ～

熊野神社（智徳区）と坂東寺

「寺社并古城古墳等書付」（寛延2年、1749年）には、（前略）往古紀州熊野権現北の馬場の者、権現を勧請仕り当村へ罷下り、山の下田地これ有り、作業仕り居り候農夫へ、右紀州の者対談仕り、暫く農民の白の上に安置仕り云々。とあります。

また「坂東寺縁起」（貞和4年、1348年）には、7歳の小児に御託宣が降って、従前からある広福寺を改めて、有水山坂東寺と号するようになった、ともあります。

御託宣が降ったという貞和4年は北朝の年号で、南朝年号では正平3年にあたります。ちなみに前号で取り上げた大聖寺開元（貞和3年）の翌年です。

ここでキーワードとして登場するのが白です。最初に紹介した「寺社并古城古墳等書付」では、さらに「山号を白居山と号し候由、その後上妻郡坂東寺へ権現の御告これ在り。熊野権現の社坂東寺、建立これ在る由、申し伝え候」と続いています。一方では最初に白の上に安

置したのは、熊野権現だったといい、一方では広福寺を改めて有水山坂東寺ということになったといっており、山号の起源に混乱が見られます。

そこで筆者の大胆な推考をお許しただけなのであれば、初めに白の上に安置したというのは、熊野権現ではなく、広福寺の御本尊であったという可能性も、捨て難いと考えます。もともと広川荘は坂東寺の荘園であったものが、領家職が待賢門院に代わった後、そっくり紀州熊野神社に寄進されたものです。

そのことを契機として、熊野権現が我が国で最初の分霊として勧請されることになったという、歴史的事実を考えてみる必要があります。先に広福寺（あるいは坂東寺）があつて、その後に熊野権現の勧請だったからです。

現在もなお智徳区内の小字として、有水という地名が残つて、その歴史の名残りを留めているのです。



熊野神社や坂東寺に縁の地（智徳区）
中央に白くガードレールが見えるのが「うすい橋」。かつてこの地に御神体あるいは御本尊を白の上に安地したことに因む地名で、現在なお有水（うすい）の字地名が残る。

ところで「筑後秘鑑」（著者年代不詳）には、室岡村（現八女市室岡）の熊野神社について、昔は大社にて神領八十町あり。この坊、大宮司等ありしが、今僅に残れり。一説に坂東寺の熊野宮初は、此所にありしと云へり。と記されていることも、ご紹介します。近世までは熊野神社（筑後市蔵敷）の祭礼では、中宮神輿を智徳村から、東宮神輿を一條村・当条村から昇ぐ慣例でした。また鬼夜の大松明は、智徳村の宮総代が行かないと火がつかなかったなど、このような来歴があつたからのことでしょう。

広川町古墳資料館だより

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年から中止となっている弘化谷古墳の壁画公開。県内の装飾古墳も同じく公開中止が続いています。実物の古墳内部を見学していただく意義として、文化財の現状や今後の保存活用のあり方などを多くの人々に知っ

ていただく点にあります。現在、資料館では映像で古墳内の壁画を見ていただいておりますが、石室内の温湿度も安定し、カビなどの発生もなく公開できる日を心待ちにしています。その他の古墳外観が楽しめるものや、丘陵斜面の横穴墓などは公開されています。



▲弘化谷古墳の壁画

人権意識を高めませんか

☎教育委員会事務局人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

あなたの「はだ色」は何色？

「はだ色」と聞いて、あなたはどんな色をイメージしますか。私たちは何の疑問も持たず、「はだ色」を一つの色に決めてしまっていますか？

世界には、さまざまな肌の色をした人がいます。日本人の中だけで見ても、肌の色は一人ひとりみんな違いますよね？

一つではない価値観

現在は、ほとんどの文具会社が「はだ色」という表現から「ペールオレンジ」「うすだいたい色」という表現に変更しています。肌の色が一人ひとり違うように、物事の価値観や考え方もそれぞれ違います。しかし、そうした当たり前の違いを、私たちは認め合うことができているのでしょうか。

私たちの身近なところにも、たくさんの方の国籍の人々が住むようになりました。社会の国際化が進むとともに、私たちの人権意識も高めていく必要があります。

みんな違ってみんないい

ある日、祖父と孫がランドセルを買いに出かけました。さまざまな色のランドセルが並ぶ中、孫は青色を選ぼうとしています。すると、祖父は口をそろえて「誰も持っていないよ。やめておきなさい」と言いました。しかし、孫は「青色が好きなのに、なぜ好きな色を選んじゃいけないの？」と言って納得しません。

「男の子は黒、女の子は赤のランドセル」「昔からそれが当たり前」と考える人が、まだ多くいるのではないのでしょうか。ランドセルの色は赤と黒だけではなくあります。最近では青、緑、茶などさまざまな色があります。「なぜ好きな青色を選んではいけないの？」と、子どもが素直な疑問を抱いても不思議ではありません。

本音のところでは「できれば子どもの意見を尊重してやりたい」という気持ちはありながらも、「一人だけみんなと違う色というのが…」「ランドセルの色が違うと、学校でいじめられてしまうかもしれない」と、子どもの心配が

先行してしまい、大人の価値観を押し付けてしまっている人も少なくないかもしれません。

保護者の立場からすれば、子供を心配するのは当然のことですが、本当に尊重すべきは子どもの思いや個性です。大人の常識に何の疑問も持たず、それを押し付けることが、子どもの長所を摘み取ってしまう場合もあります。違いを個性として受け入れられる社会を作ることが、子どもを守ることにつながります。

まずは身近なところから

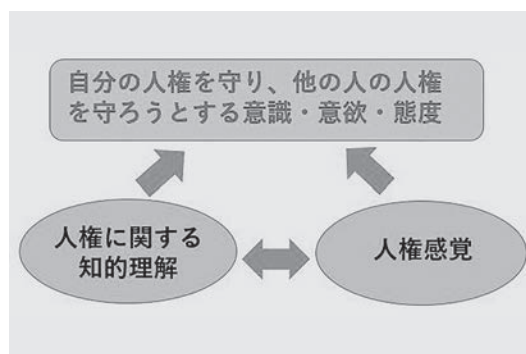
生き生きと生活していくための基本となる権利が人権です。これは、誰にも侵すことはできません。しかし、固定観念や世間体縛られるがあまり、私たちは無意識のうちに他人の人権を侵していることがないでしょうか。自分以外の人の人権を大切にすることは、自分の人権を守ることに

つながります。誰もが安心して暮らせる社会にしておくためには、いろいろな価値観があることを理解し、お互いを尊重する気持ちを持つことが

とが必要です。家庭や職場など、身近なところから見つめて直してみませんか？

人権意識を高めるために

「偏見や差別に気づく感覚を高めること」と「人権に関する知識を学ぶこと」が大切です。日常生活の中にも「人権意識」を高める機会がたくさんあります。「難しい」「自分には関係ない」ではなく、一人ひとりが自分自身の課題としてとらえ、差別的な言動を許さない意思を持つて行動すること、多様性を認め合う気持ちを持つことが必要です。



総合クラブひろかわ

～定例教室で健康づくりや文化活動にチャレンジしてみませんか～

マイペースで誰でも気軽に楽しむことができ、仲間づくりを通して生きがいを感じる

ことができる教室を開催しています。4月からは新たに「お茶教室」も開講。アルコール

消毒や3密の回避などの感染防止対策をとって実施しています。

教室	内容	日時	場所	参加費
スポーツ吹矢	腹式呼吸をベースとし、集中力や精神力を養います。	毎週火 10:00～12:00	古墳公園 資料館	2,000円/月
リラクゼーション・ヨガ	「寝」「座」を中心にやさしいポーズを行います。心身の健康回復、癒しなどに効果があります。	第2・3・4火 13:30～15:00		2回 1,500円/月 3回 2,250円/月
じきょうじゆつ 自彊術	血行や気の流れをスムーズにする健康体操です。	第2・4水 18:30～20:00	町民 交流センター 「いこっと」	1,500円/月
お茶教室	日本の伝統文化である茶道には、おもてなしの精神やわびさびなど美しい魅力がたくさんあります。	第1・3月 昼の部 13:30～15:30 夜の部 18:00～20:00		2,000円/月

☎ 総合クラブひろかわ事務局（教育委員会事務局生涯学習係内） ☎ 0943-32-0093

広川文芸

ひろかわ短歌会



朝晩は戻り寒波の冬ぐらし昼は夏日の気象の異変
野中 勝美

小綬鶏に誘われて行く茶畑の丘いちめん萌黄色頭つ
蓮子 住雄

久びさの博多どんたく眼の前にはただそれだけで感謝の日々の
姫野 洋子

柿若葉そよげる下に持ち出してピース茗荷の炊き込みご飯
原 千恵子

「初孫は男児おのこでした」と便りくる幟あげたと写真も添へて
美座 時朗

母子草花束にして送りたい和毛にこげがきつと頬をくすぐる
青木佳代子

「あまおう」は元気のもとと孫の言う明日届くよう本日発送
高橋 和子

CTに写し出されし内臓の八十路生き来し戦友悼む
結束 節子

夕風にゆらりゆらゆら揺られてる黄色の水仙なにか言ひたげ
野中ヨシ子

はるばると広がるあをき麦畑は風のカタチを見るためにある
山下 整子

道の辺のすみれの花も咲き誇り斜陽に照らさる紫の色
横山 方子

曇天の古木にからまるからすうり先立ちし友思いてむなし
姫野 深幸